

進する組織等の必要性が議論され、今話し合いを進めております。

○総合水沢病院の運営について



わたなべ あけみ
渡辺 明美
議員

質問 平成19年度末不良債務24億597万4千円の解消措置として、総務省から18億6190万円の公立病院特例債の承認を得て、2年据置き5年償還（年約4億円）の方針を示されました。しかし返せる状況に無いため、一般会計で負担することになります。

厳しい財政事情の中、繰出金の増額は他の財政需要を制約したり、市民の負担強化につながらないのか。また19年度実質公債比率は20・7%と公表されましたが、18%を超えると地方債許可団体に移行され、病院への繰出金の削除が求められることとなりますが、お考えをお伺いします。

市長 21年度水沢病院の運営は、「改革プラン」の実行が「カギ」となり、病院の収支が改善されない限り、一般会計からの繰出基準に上乗せしての対応となります。一

般財源確保のため、全体事業の見直しや未調整事業の早期調整等が必要であります。ただし行財政改革の断行やメリハリの利いた予算配分等により、必要な住民サービスを確保し、市民生活への支障や住民負担が増えることのないように努めます。また、人件費削減のため、医師を除く一般職員の給料5%カット、事業管理者と市三役の報酬を10%削減するとともに、医師確保対策に努めます。

特例債対象外の不良債務解消のための、一般会計長期貸付金5億4400万円は、地域振興基金を繰替え運用することで、当面市財政には影響がありません。

また、実質公債比率20・7%への影響は、23年度までは数値に変動なく、24年度以降の影響に対処するため、地方債の繰り上げ償還を含め様々な対策を講じます。

○水沢区の保育園の改築問題と児童・生徒の体力検査、不登校対策の現況について



ちば ごろう
千葉 悟郎
議員

質問 平成20年度予算案に「いずみ保育園とみなみ幼児教室を統合



市立いずみ保育園（水沢区）

して改築する費用」が計上されました。ところが、この園は旧水沢市時代に「廃止」とすると行政側が決めていたとして「改築の反対の請願」が提出されました。その後、改築にあたり、行政側と請願者側で十分な話し合いをすることで、反対の請願が取り下げとなりました。両者の話し合いの進捗状況などについてお聞きします。

市長 今まで、事務担当者間での話し合いや管理職間や自分（市長）も入っての話し合いを数多く持ってきました。それで「定員」数の引下げ等を提示して、理解を得るよう努力しているところです。

質問 文部科学省の「体力検査」の発表によると、岩手県の児童・生徒の「体力検査」の現況は、下位にあると示されていました。奥州市の児童・生徒の状況をお聞きします。

教育委員長 「体力検査」には、8種目がありますが、そのうち3種目については上位にあります。全体的には平均的な位置にあります。

質問 今年度、市教育委員会の重点目標は「学力向上対策」と「不登校対策」であります。その「不登校対策」においては、どのような成果と課題があるのかお聞きします。

教育委員長 奥州市の不登校児童・生徒が100名を超える状況にあり、そのため、担任の先生や学年団、また学校を支援するため、「心と学びの相談員」「適応指導教室指導員」「学校適応支援相談員」などを配置しております。その結果、多くの成果が上がってきておりますので、今後も継続して支援していきます。

